

(議事要旨) 県営かんがい排水事業の再評価

●委員

関係市町村における農家戸数は、減少しているということだが、受益地内の農家戸数はどうなっているのか。

○耕地課

受益地内の農家戸数は減少していない。関係市町の受益地外で減少している。

●委員

総便益の効果は最初の年にすべてが発現するという事なのか。

○耕地課

完成した施設から発現するという事で算定している。

●委員

維持管理節減効果がマイナスとなっているが、効果が下がっているということか。

○耕地課

今まで維持管理をしていなかった施設についても、改修することで継続的に維持管理をしていく必要がある対象施設が増えたということで、維持管理費節減効果がマイナスとなっている。

●委員

事業が10年間かかった要因は。

○耕地課

事業費が増額されたが、地元負担額にも限度があるので、事業工期を伸ばして負担できるよう令和3年度の総代会で同意を得ることとなった。

●委員

国産農産物安定供給効果が追加となっているのはなぜか。

○耕地課

採択された平成26年度にはそのような効果は見込めなかったが、平成27年度に費用対効果算定マニュアルが改訂となり効果が見込めることとなり、その効果が増大している。

●委員

総費用が増えているのに、費用対効果が1.0を上回っているのはなぜか。

○耕地課

工期が5年延びており、年効果額が5年分さらに総便益に計上されるので、総費用以上に総便益の増大したことによるもの。

●委員

維持管理節減効果がマイナスとなっているのに、「維持管理労力の低減効果がある」というのは違和感があるので、「適正な維持管理が見込まれる」という表現にしてはどうか。

○耕地課

文言を修正させていただく。